



刊夕日六月五

寄書 蠅を撲滅せよ 警城病院長 市原卯太郎 夏になると蠅が湧くとして 食べ物にも止まれば午睡の 邪魔もするうるさいといふ 字を五月蠅書く事は誰も知 っている事實であり又昔細 川頼之は謎に逢つて隠遁す る時姦臣共を蠅にたとへて 『満室の蒼蠅掃へ共去り難 し』といふ詩を賦したるやう であるが此やつかい者の蠅 はウジの時代に驅除するが 一番よろしい蠅となつて終 つてはもう追ツつかないそ してその一定の雌の蠅は大 概百二十卵を産み付けるそ

してチブス、バラチブス、 コレラ、赤痢、結核等の媒 介をするのであるそこで其 ウジを殺すにはクレシンを 散布するが最も好い方法で あるが普通三十倍乃至百倍 のクレシン液を注げば四分 乃至十五分で殺す事が出来 る或は熱湯でも効果はある 又ウジの豫防として塵芥箱 等不潔な物は一週間に一度 はさつと仕末をこつかり さ蓋をして置くがよい蠅を 殺すには蠅トリックを使用 するに越した事はない、今 では此の器械は世界的に有 名になつてゐるが東京で試 験した處一日二千八百三十 二足の蠅を捕へたそれに使 用する誘引剤には濃い砂糖 水と酢を等分に混じた物が 一番きつめがある又ハイ取 紙も相当効果はあるハイ取 紙で敷き殺すもやはりそれ だけの利益はある譯である 或は寒冷紗を張つてハイ の出入を防ぎ飲食物は網の 覆ひをするか又は戸棚に仕 末をすべきであるそして夜 はハイは活動を止めるもの であるから日が暮れてから 夕食を取るがよい普通我々 に害を及ぼすものは『いへ ばへ』なのであるが一定の ハイによつて媒介さるゝ病 菌は甚だ莫大なものである から大いに此の驅除法を講 じあらゆる傳染病を未然に 防がねばならぬ

定一冊五銭 郵税五厘 印刷費 印刷所 常盤毎日新聞社

内科。胃腸科。婦人科 十二指腸虫病科 花柳病科。X光線科 松村病院 平町南町電話一〇七番 内科。外科。耳鼻 咽喉科。花柳病科 高久病院 平町田町電話五二三番 内科。外科。花柳病科 耳鼻咽喉科。婦人科 赤心堂病院 平町田町電話七五番

歯科 平町土橋通り 原歯科醫院 電話卅一番 買好店 良品ヲ安ク賣ル クーサーリ 關内薬舗 藥劑師 關内栄助 電話四〇番

奇抜!!! 全額返金の大量出し 銀婚式を記念し平素御愛顧の謝恩の意味で... 奇抜!!! 全額返金の大量出し 銀婚式を記念し平素御愛顧の謝恩の意味で... 七日より十六日までの十日間のうちこの日か抽籤の結果一日だけ全額返金當籤になりまます 若しあなたの御買上票が幸ひに當籤日と同一日附でございましたならば其の日の御買上金高全額を御買上票と引換に商品券を以て御返し致します 販りに十日が當籤日と定まつたことならば其の日に五十銭御買上げの方には五十銭一圓御買上げの方には壹圓の商品券を差上げる事になります 抽籤は五月十七日當店內で御客様及び常警毎日新聞社立會を以て行ひます 發表は十八日當警毎日新聞紙上及び店頭にて發表致します まつたく奉仕的な奇抜な賣出しですから御興味を御持ち下さいまして 御來店の程を御願ひ申し上げます 忘れなく五月七日より十六日までの十日間 平町四丁目 内外製 業問屋 マツモトヤ

酒 清 釀造元 石川亭 大工町公認 井上茂作君 五丁目公認 星野清吉君 大工町一同 五丁目一同 電話二四一番

外科内科 平町鎌田町 産婦人科 金成醫院 花柳病科 金成忠義 電話三五八番 平町會議員候補者トシテ 岩本重雄君 田町區一同 大音堂 平町四丁目

瓢箪から飛び出た馬に一鞭くれて...

鹿を追ふた祭り候補者
此處の所確かに見もの
はして選挙談に花を咲かし
た後に
薦める者 も薦めら
るゝ者もあつたりした揚句
『それでは俺が出やう』等
とよい氣嫌でメートルをあ
げた瓢箪から飛び出した馬
に打乗つて一鞭くれ鹿を追
ふ事になる様な所謂お祭り
候補も前例に依るとない譯
でもないから先づ七八兩日
の時を越した事に依つて候
補者の顔も

選挙期Hも一日と切迫し
投票の争奪戦も益々白熱化
しつつある平町の選挙戦を
一蔑するに確かに名乗りを
舉げて馬を陣頭に進めて居
る候補者の顔ぶれは
(紺屋町)曾川卯三郎、加
納五郎(播磨小路)阿部
政右衛門、吉田伍平、田
町)岩本重雄、森本盛一
野崎滿藏(二丁目)鷹崎貞
衛、渡邊貫一(二丁目)丹
野榮三郎、柏原真吾(三
丁目)大谷久藏(四丁目)
阿部唯次郎(五丁目)星野
清吉、井上茂作(南町)大
森勇、萩原義雄(新川町)
諸橋國松、吉田定太郎、
松崎喜久三郎(六丁目)荒
川渡次郎(鎌田町)佐藤岩
次郎(白銀町)高橋龜松
(鐵道以北)佐々木龍若、
櫻井清(舊城跡)青沼幹太
郎(久保町)永山義太郎、
(北目胡摩澤)花澤久一郎
の廿八名で定員には未だ二
名足りない、然して此外立
候補の可能性ありとして指
を折られて居る五六名を加
へたとしても定員を超過す
る事僅かに四五名に過ぎず
此の前の選挙戦に當り二級
候補者が十二名を超過して
まん字巴の

混戦状態に陥つた
が如き修繕場を現出するこ
となしに済むであらうと観
測する向もあるが平町の氏
神様である縣社子齋會神社
の祭典が七八の兩日である
から此機會に益等を汲み交
るゝ者もあつたりした揚句
『それでは俺が出やう』等
とよい氣嫌でメートルをあ
げた瓢箪から飛び出した馬
に打乗つて一鞭くれ鹿を追
ふ事になる様な所謂お祭り
候補も前例に依るとない譯
でもないから先づ七八兩日
の時を越した事に依つて候
補者の顔も

本年の麥作が減收

氣温が低く
農産物中別して近年來利益
少しと稱せられる麥は昨年
種まき當時から氣温低く一
時回復したるも本年に入つ
てから平年より二度の低温
で経過し加ふるに降水量少
く土地乾燥に過ぎかつ強風
甚だしき爲めその生育に影
響すること著しく生育不良
のため立枯病その他の恐れ
もありかた／＼本年は總休
において二割乃至三割の減
收を見込まれてゐる

豊間方部協議 石城
那豐間村役場に於て十七日
附近村落の役場吏員方部會
を開く
石城檢定試験 石城
郡にては六月一日から六日
迄平第一小學校に於て小學
校檢定試験を執行する筈で

平町に増設する 電話数は五十個

前年度の約五倍
申込受理は本月中旬頃
平郵便局の本年度電話増設
割り當て数は昨日仙台通信
局からの通牒に接したが普
通電話は五十個で前年度の
十二個に
比較し 約五倍の多
數に達し此の内約一割の五
個内外は優先権の架設に振
り當てらるべく尚ほ此の外
連接加入は三個の見込で是
れは從來の無料から寄費徴
收制度に改正される模様で
ある而して普通電話は改正
規則が未だ發表されないの
で架設費寄附金額も申込
資格の 標準等もわ

あるが受験者九十九名であ
ると
飯野落成式
花角力や劍道
石城郡飯野村小學校にては
十五日午前十時より新築落
成式を舉行し餘興に花角力
や劍道がある由

した
美人に化けた猪
埼玉縣北埼玉郡高
柳村鎮守大日如來
の境内お靈池ケ附
近に百數十年を経たる猪が
棲息し屢々通行人を惱まし
てゐたが四日午後十一時頃
同村大工職高田重三郎が用
たしの歸途同所へ差蒐ると
突然妙齡の美人に化けて飛
付いて來たので救ひを求め
附近十數名の者が棍棒を持
つて取巻き此猪二頭を生捕
り上野動物園へ賣らうと目
下交渉中だが社は後頭部の
打撲傷で生命危篤

轉げ込んで
幼兒が慘死
石城郡三阪村大字差鹽字沖
の町木炭燒應藏三男藤田忠
義(前)は二日午前十時頃母
が庭先にて洗濯を爲し居た
際に爐中に轉落し全身に
大火傷を負ひ翌日遂に死亡
で僅かに桃太郎、花咲爺、
舌切雀カチ山等殆んど十種
類にも足りない位のもので
す、永い習慣から理屈一點
張りで躰け子供に心の糧を
與へると云ふことが少いの
です。趣味のない家庭に育
て上げられた子供が低級な
活動寫真などに感化され自
然不良性をおびる事となり

一丁目世話役 平町
二丁目衛生世話役改選の結
果左記の如く決定
(衛生區長)鈴木新男(世
話役)永山小平、江尻康平
望月辰藏、小松三造、



子供ごた伽噺

子供ごた伽噺
子供は本能的にお話を好む
ものであります。我國で
は兎角大人本位であつた爲
め日本在來のお伽噺と云ふ
ものは至極數の少ないもの

たので平町では第一公園に
つゝじを植えて六日夜間か
ら數百個の電燈を點けるこ
とになつた

壯丁の 學力調査は 八種に分ちて

平町に於ける壯丁検査は十
日午前八時より公會堂にて
執行の筈であるが同時に前
日午後一時より平第一小學
校に於て調査する學力調査
の標準は從來中學校高等小
學校各卒業及尋常科卒業並
に不就學の五種に分ち國語
算術の二科目に就き行つて
來たが、今年よりは國民教
育の充實を圖る第一歩とし
て又青年の實力を調査する
方法として高等小學校は二
學年卒業尋常小學は二年生
と四年と卒業中學校を三學

陸軍異動の 本郡出身消 息

猪瀬氏其他
過日の陸軍更迭中石城郡の
出身者では待命になつた重
砲兵大隊長砲兵大佐猪瀬俊
雄氏が内郷村綴出身猪瀬海
軍中佐の介兄、歩兵第九聯
隊付となつた歩兵少佐遠藤
眞一氏は警中第五回出身警
崎村の人、歩兵第十四聯隊
付に補された歩兵大尉野村
忠治氏は平町二丁目故野村
宥考氏の二男で警中第五回
出身、陸軍歩兵少佐に昇進

永戸の霜害 強烈の見込

石城郡永戸村一帯に二日朝
降霜あり未だ被害程度は報
告なきも一面眞つ白になつ
たから相當強烈なものとら
しく同地方は二葉開であるか
ら再發芽の見込みなるが縣
下に於ける初霜害である

募集 文藝其他投稿

郡大浦村木村守江氏は慶應
義塾醫科大學を卒業し同大
學病院外科教室に於て一般
外科研究中の處今回叔父に
當る同村木村清治氏の醫院
に於て一般外科の診療に従
事する事となつた爲め九日
午前十時から仁井田浦にて
披露の園遊會を催す由

平町人事

- △出生
△鎌田町二七 鹿島要助氏二女通代
△才道小路五 當時石城郡豊間村堀
一耶氏三男英一
△紺屋町三二 阿部章氏長男榮一
△八幡小路六六 山森正保氏長男正
孝
- △婚姻
△石城郡下小川村電工佐藤三三氏
(二三)長橋町六三
島崎ナツイ(一七)
- △死亡
△田町六三 平野富美(二二)
△白銀町一五 松本サト(四四)
△新川町一四 村井千松(四二)

數百の電燈 今晩から

平町松ヶ岡公園は櫻花期が
過ぎて漸く新緑の候となつ